

臨床研究情報

当院で早期胃癌に対する治療を受けられた患者さん・ご家族様へ
ご協力をお願い

NTT 東日本関東病院消化内科では、以下の臨床研究を実施しております。

この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身の診療記録を使用して欲しくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の問い合わせ先、もしくは倫理・医療監査委員会事務局へご連絡ください。

研究課題名

同時性多発早期胃癌/腺腫の臨床病理学的特徴の検討

研究実施機関

NTT 東日本関東病院 消化内科

研究責任者

飯田敏史、大園研

研究の意義と目的

近年内視鏡技術向上に伴い同時性多発胃癌/腺腫が散見されるが、臨床病理学的特徴の検討は少ない。同時性多発胃腫瘍の特徴を明らかにすることで、早期発見、診断、治療に活用出来る可能性がある。今回、当院にて上皮性胃腫瘍に対して内視鏡治療もしくは外科治療を受けた患者のうち、同時に2病変以上の多発を認めた症例を後方視的に集積し、それらを解析することにより、臨床病理学的特徴を評価する。

対象となる方

2014年1月1日から2024年3月31日までに当院で早期胃癌に対する治療を受けられた方。

実施方法

当院にて上皮性胃腫瘍に対して内視鏡治療もしくは外科治療を受けた患者のうち、同時に2病変以上の多発を認めた症例を後方視的に集積し、それらを解析

する。多発病変を腫瘍径が大きい群(L群)/小さい群(S群)に分け(3病変以上存在した場合最大と最小の2病変を抽出)、1)臨床病理学的特徴、2)L/S群間での一致率を後方視的に検討する。

実施期間

2014年1月1日 ～ 2024年3月31日

個人情報の取り扱い

名前などのプライバシーに関わる情報はこの研究の結果に関わるデータの解析や研究会・論文などに報告される場合にも、一切使用しない。登録においては個人を特定しうる氏名・生年月日・患者ID番号などは使用せず、匿名化した上で当科が管理するデータベースに記録・保管する。

本研究のために入力した電子媒体には、外部から遮断されたコンピュータの外付けハードディスクあるいはUSBメモリーで管理する。電子媒体には個人を特定できる情報を入力せず、連結可能匿名化のために付与した番号を入力する。

費用

追加費用は無し。

利益相反

開示すべき利益相反は無し。

同意の撤回

本人もしくは代理人により申請があった場合には、同意の撤回が可能である。しかし、すでに解析を終えている場合には、その結果を破棄することは出来ない。同意を撤回しても、治療に不利益を受けることは無い。

問い合わせ窓口

NTT 東日本関東病院 消化管内科 飯田 敏史

東京都品川区東五反田 5-9-22

電話番号 03-3448-6111 (代表)